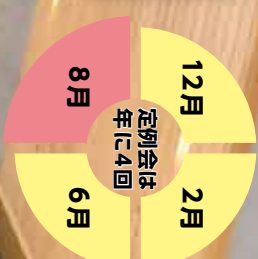


おそうじや

議会だより



2025.1¹
vol.84

令和7年11月1日発行
(年4回)

令和7年8月定例・10月臨時会版

主な内容

新議長・副議長、常任委員会などを決定…………… 4ページ
8月定例・10月臨時市議会…………… 7ページ
一般質問…………… 9ページ
委員会活動報告…………… 14ページ

22人の新議員が決定

新議員を紹介します



1 川端 仁宣 (無所属)
原1891番地
☎ 99-2484
☎ 090-7991-1316
活気ある総社を、皆んなの力で、創る



2 竹下 かなこ (公明党)
清音上中島370番地6
☎ 94-0411
1人1人が輝く総社市に暮らし最優先の市政をめざして頑張ります



3 柴田 敏 (日本共産党)
中央六丁目10番地117(事務所)
☎ 93-0624 (事務所)
☎ 090-9412-2646
暮らし最優先の市政をめざして頑張ります



4 大月 真一 (無所属)
日羽724番地
☎ 090-1685-1101
総社の、地域の明日を市民の皆様と作ります



5 林 恭一郎 (無所属)
清音上中島228番地9
☎ 93-6908
☎ 090-7896-1535
一步一步、誠実に、皆様と共に歩みます



6 山名 正晃 (無所属)
中央四丁目3番地104-2F(事務所)
☎ 070-5425-1160
市民の皆様からの想い、届けてまいります



7 太田 善介 (無所属)
秦466番地78
☎ 93-2955
☎ 070-8531-1404
新しい発想と手法で総社の次を作ります



8 荒木 将之介 (無所属)
久代3972番地
☎ 070-4158-1247
今やるべきことを、誠実に真摯に揺るぎなく



9 小野 耕作 (無所属)
清音軽部734番地3
☎ 94-0480
☎ 090-3327-1192
2期目も全力で！地域を守る男！やります！！



10 山田 雅徳 (国民民主党)
総社三丁目4番30号(事務所)
☎ 94-0055 (事務所)
☎ 090-7541-1641
新任期も対決より解決で市民の声を届けます



11 溝手 宣良 (無所属)
西阿曾225番地3
☎ 99-9543
☎ 090-1359-1161
頂いた任期を全力投球で全うします



12 三上 周治 (無所属)
上原146番地
☎ 92-3407
☎ 090-2868-9443
初心を胸に市民の声を大切に市政に届けます



13 萱野 哲也 (無所属)
清音軽部16番地
☎ 090-6412-2813
これで良いのか？総社市政！！



14 三宅 啓介 (無所属)
井手381番地3
☎ 93-7079
☎ 090-2808-9116
引き続きデジタル行政を推進して参ります



15 岡崎 亨一 (公明党)
西坂台172番地
☎ 92-8157
☎ 090-2292-3857
議員力を磨き、市民のお役に立って参ります



16 深見 昌宏 (無所属)
総社二丁目17番38号
☎ 92-0063
☎ 090-3173-0790
総社市の未来が笑顔であふれるまちづくりに



17 高谷 幸男 (無所属)
溝口269番地
☎ 92-5161
☎ 090-3171-9407
身近な課題から誠心誠意取り組みます



18 小西 利一 (立憲民主党)
下原895番地
☎ 92-5076
☎ 090-8712-2790
安心して弱者になれる社会をめざす



19 津神 謙太郎 (無所属)
南溝手492番地4
☎ 94-3855
☎ 090-2005-0732
安心と生きがいのある地域社会を目指します



20 村木 理英 (無所属)
門田566番地2
☎ 92-7751
☎ 090-4690-3318
道路整備を最優先課題として尽力します



21 加藤 保博 (無所属)
溝口179番地2
☎ 92-0782
☎ 090-8710-4513
経験値を、市政発展に活かしてまいります



22 剣持 堅吾 (無所属)
地頭片山53番地27
☎ 94-0895
☎ 090-8714-8059
新市合併20周年を契機に新たな前進と発展を

[掲載情報]

議席番号



氏名 (党派)
住所
☎ 電話番号 (市外局番0866)
☎ 携帯電話番号
ひとことメッセージ

選挙後のあいさつ行為の制限について
選挙期間中の市民の皆様へのご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。なお、公職選挙法の規定により、選挙後は、誰であっても当選または落選に関するあいさつをする目的で、**選挙人に対する個別訪問などの行為**をすることはできません。ご理解とご協力をお願いします。

常任委員会、議会運営委員会などの委員決定

10月2日臨時市議会において、議員選出の監査委員、各常任委員会(総務生活委員会、文教福祉委員会、産業建設委員会)などの委員が決定されました。

また、同日議会運営委員会の構成も決まりました。

監査委員、議会運営委員会、各常任委員会の構成、所掌事項などは次のとおりです。

議会選出の監査委員

岡崎亨一

総務生活委員会

8人

【委員長】小西利一 【副委員長】荒木将之介
【委員】川鯉仁宣 竹下かなこ 三上周治
岡崎亨一 高谷幸男 剣持堅吾

総務生活委員会では、総合政策部、総務部、あたたか市民部、消防本部等の事務を所管します。災害復興、防災事業、消防救急業務などの案件を議論していきます。

産業建設委員会

7人

【委員長】加藤保博 【副委員長】太田善介
【委員】大月真一 溝手宣良 三宅啓介
深見昌宏 津神謙太郎

産業建設委員会では、産業部、建設部、環境水道部等の事務を所管します。農林事業、観光振興、道路整備、都市計画、自然環境保全の推進などの案件を議論していきます。

文教福祉委員会

7人

【委員長】山名正晃 【副委員長】小野耕作
【委員】柴田敏 林恭一郎 山田雅徳
萱野哲也 村木理英

文教福祉委員会では、文化スポーツ部、保健福祉部、教育委員会の事務を所管します。文化芸術振興、障がい者・高齢者福祉、教育振興などの案件を議論していきます。

議会運営委員会

9人

【委員長】村木理英 【副委員長】高谷幸男
【委員】山名正晃 太田善介 荒木将之介
山田雅徳 深見昌宏 小西利一
加藤保博

議会運営委員会は議会運営の舵取りを行い、議長の諮問事項などの重要案件を調査、協議します。

市の仕事は、様々な分野にわたっていることから、常任委員会として上記のように総務生活委員会、文教福祉委員会、産業建設委員会の3つの委員会を設置し、それぞれ分担しながら、専門的な審査と調査を行っています。また、市民等から提出された請願、陳情の審査も行っています。

11月定例市議会の予定

日程	内容
11月28日(金)	開会
12月4日(木)	一般質問
12月5日(金)	一般質問
12月8日(月)	一般質問
12月9日(火)	一般質問・質疑
12月10日(水)	委員会
12月11日(木)	委員会
12月12日(金)	委員会
12月19日(金)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

【令和7年7月～令和7年9月分】 (単位：円)

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
募金	7/23	5,000	2025国民平和大行進
土産等	7/29	4,025	行政視察先(産業建設委員会)
4月からの累計		42,033	

新たな正副議長決定

議長ご挨拶

この度総社市第13代目の議長に就任させていただきました。

誠に身に余る光栄であり、身にも、議長としての責任を担うこととなり、身の引き締まる思いです。

地方自治体の権限と責任が拡大していく中、行政の監視機関としての議会の役割は、益々、重要性を増しています。また、議会での活発な議論は、総社市の更なる発展のためとても重要です。公正中立な立場で議論を深められる議会運営にあたりたいと思います。今後、引き続き総社市議会として、様々な課題に対し迅速かつ的確な施策を実現できるように努めてまいります。一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新副議長 三上 周治 議員



副議長ご挨拶

この度、副議長に就任することとなり、責任の重大さを感じるとともに、身の引き締まる思いでございます。

副議長として議長を補佐し、議会運営が円滑に進むよう、誠心誠意努めてまいります。総社市議会は「開かれた議会」を目指し、市民の皆様の声に耳を傾け、暮らしに寄り添った議論を重ねてまいります。

私自身も、市民の代表としての初心を忘れず、皆様に身近に感じていただける議会づくりに努めてまいります。今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

正副議長選で 所信表明会を実施

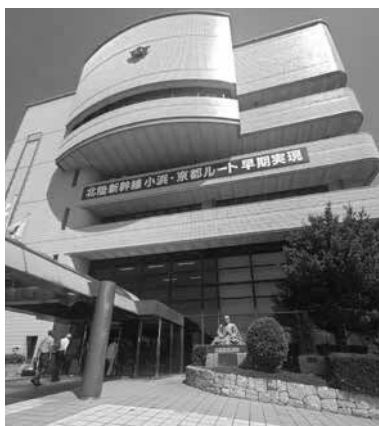
10月2日の10月臨時市議会で行われた正副議長選挙では、投票に先立ち、第1委員会室で所信表明会を実施しました。所信表明会は議長・副議長の選任過程を開かれたものにするため平成27年10月から実施しています。所信表明は、議長選挙では三宅啓介議員、小西利一議員、津神謙太郎議員、副議長選挙では三上周治議員が行いました。

その後、議員22人による正副議長選挙の投票がそれぞれ行われ、新議長に三宅啓介議員、新副議長に三上周治議員が決定しました。(選挙結果は左表のとおり・敬称略)

議長選挙結果	
三宅議員	15票
小西議員	2票
津神議員	4票
村木議員	1票
副議長選挙結果	
三上議員	20票
無効票	2票

産業建設委員会小浜市植物工場行政視察

令和7年7月31日



2025年7月31日(木)に福井県小浜市の植物工場を視察しました。今回のテーマとして植物工場とはどのようなものか、誘致に際してどのような施策を行ったのか、などを中心に視察を行いました。福井県小浜市は、福井県の西部地区に位置し舞鶴若狭自動車道が通っており海岸線において、物流業や電子産業、水産業、などが盛んな地域です。また、寺院なども多く、文化圏的には関西圏で、京都の北東に位置するだけあり京都文化を色濃く継承していると感



じました。しかしながら、JR小浜駅自体は自動改札がなく田舎の雰囲気は今も残っています。小浜市自体は敦賀駅まで沿線が伸びている北陸新幹線誘致を主眼に発展している地域です。

小浜市到着後、座学にて小浜市の産業、人口比、産業の遷移などを教わりました。県や国の助成を使いながら、工業、農業、水産業など様々な企業誘致を行っているようです。しかしながら、人材不足



が問題になっており、実習生制度などを使って人材を確保しているようです。小浜市に限らず、福井県全体で、原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業(F補助金)と言うものがあり、新規に進出した企業の電気代を最大8年間半額に抑えてくれる仕組みがあるようです。県とのコミュニケーションを密にして、誘致においても民間企業との情報交換や素早いレスポンスを心がけているそうです。植物工場誘致において農村産業法を利用し、農業従事者を工業的な野菜工場に転換するため利用したようです。初めて聞いた方法で大変勉強になり



ました。その後、植物工場に移動し現地視察を行いました。工場は体育館サイズの施設で、外観からは倉庫にしか見えないものでした。中に入ってみると野菜が棚に配置されLEDライトが野菜を照らしているシンプルなものでした。水耕栽培で種を撒いて数日経つと収穫し、包装したものを発送に回す流れだそうです。

(太田 善介)

8月定例市議会

8月定例市議会を8月25日に開会し、報告3件、議案22件、認定8件、意見2件、請願1件、陳情1件、発議2件の審査を行い9月11日に閉会しました。

議案について

- 旧本庁舎・保健センター・総合福祉センター解体工事請負契約の締結(契約金額約4億8千万円)。
- 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の整備や運営に関する基準を定める条例の制定。
- 国民宿舎サンロード吉備路改修工事請負契約の締結(契約金額約4億7千万円)。
- 作原地区の内水排出のための移動式排水ポンプユニット購入(購入価格約1億4千6百万円)。
- 一般会計補正予算について
- 効率的な行政運営を図るための事務補助職員経費約1千

9百万円。

□令和8年開所予定の私立小規模保育事業所の改修費用926万円。

□小学校・義務教育学校の特別教室にエアコンを設置する費用3千万円。

□来年度改定予定のファミリーサポート利用料の増額分を、今年度は経過措置として市が補填する費用2百万円。

□飼い主のいない猫に不妊去勢手術を受けさせる者に対する経費の助成150万円。

□山手小学校区放課後児童クラブ施設整備に伴う、学校施設の改修費2千万円。

□清音ふるさとふれあい広場に、安全管理のための防犯カメラ設置費用180万円。

令和6年度決算認定および基金積み立てについて

決算の末、令和6年度一般会計は歳入歳出を差し引き、翌年度への繰り越しも引いた上での実質収支額は約9億1千万円の黒字となりました。

基金への積立ては以下のとおりです。

□庁舎等整備事業基金・教育施設整備事業等基金に各1億円。

□美術博物館施設整備事業基金に5020万円。

□財政調整基金に3億9千5百万円。

一般会計は賛成多数で認定しましたが、附帯決議としました。附帯の概要は以下のとおり。

□そうじゃのお米支援補助金についての執行部の議案説明・質疑に対する答弁は、議案審議にふさわしい内容ではなかった。議会の職務遂行と、議会と執行部の信頼関係を良好に保つために、今後は正確かつ誠意ある議案説明と答弁を行うことを強く求める。

また、特別会計・企業会計については、全会一致で認定しました。

意見について

□人権擁護委員として、白神

拓之氏、横山木実氏2名の推薦があり同意しました。

請願・陳情について

□教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願を採択し意見書を提出、『医療的ケア児訪問看護レスパイト事業』創設に関する陳情書を趣旨採択しました。

議員発議について

□令和3年度から令和7年度において総社市が一般財団法人そうじゃ地食べ公社に対して交付している「そうじゃのお米支援補助金」の正当性について、監査委員に監査を求める決議案を賛成多数で可決しました。

10月臨時市議会

10月臨時市議会を10月2日に開会し、正副議長選挙、議会選出の監査委員の選任、各常任委員の選任等を行い同日閉会しました。

問

畑地の灌漑施設として上水道を利用し、初期費用の助成をしてはどうか

答

上水道は飲料水、生活も困るから井戸等の取水対策を願いたい



みづてのぶよし

溝手宣良



畑地の渇水対策について

問 総社市産の桃やぶどう等に対する思いはどうか。

市長 市の基幹作物として位置付けられており、生産量の維持拡大を図っていく重要な品目で、最も自慢の産物である。

問 畑地にも灌漑施設が必要ではないか。

市長 必要だと認識している。

問 上水道を灌漑用に利用してはどうか。

市長 検討はするが渇水時は家庭でも水不足になる。

問 実際は農家が自宅の水道からタンクに汲んで畑に運んでいるので変わらない。

市長 検討はすると申し上げている。

アスベスト含有物の処分について

問 総社市最終処分場へ市民が持ち込む場合の荷姿等方法はどうか。

市長 フレコンバック等に入れるかストレッチフィルム等で梱包し、アスベストが飛散しないようにして搬入していただく。

問 市のホームページでは詳細は環境課へ問い合わせるようになっており、説明が分かりにくいとの指摘もいただいた。作業者が被曝しないような服装や方法も含めて市民に分かりやすくできないか。

市長 非常に分かりにくいものであるが、できるだけ分かりやすくしたいと思う。担当部課内で検討する。

問

きびじアリーナに対し、ネーミングライツ制度を導入してはどうか

答

空調設備も設置するので、ネーミングライツの導入に踏み切っていきたい



やまなまさあき

山名正晃



熱中症対策について

問 危険な暑さが続く中、商業施設内の空き店舗や、夏休み期間中だけでも公民館内に子どもの屋内遊び場をつくる考えはないか。

市長 商業施設は1つの選択肢ではあるが、そこは店舗が入るべきである。公民館は飲食禁止などの規制緩和も検討し、子どもが集いやすい場所となるように検討していく。

多文化共生について

問 外国籍の子どもに対し教育現場での日本語支援の現状はどうか。また日本語教室で子どもの受け入れは可能であるか。

教育長 今年度は県加配で常盤小学校・総社西中学校に各1名。中央小学校・神在小学校兼務で1名を配置。市教員を西中学校・総社中学校に各1名を配置し日本語指導にあたっている。今後も有効な方法は検討していく。

市長 日本語教室は年齢制限を設けていないので、子どもの受け入れも可能である。

窓口について

問 コンビニでのマイナンバーカード利用証明書取得の利便性を促してはどうか。またコンビニ発行手数料を引き下げてはどうか。

市長 令和6年度は約18%の市民の方がコンビニ発行を行っているが、この数字をより引き上げるためにも広報をしていく。窓口の混雑緩和のためにも手数料引き下げサービスについては今後、考えさせていただきたい。

令和7年8月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番 号	件 名	結 果
報 告 第 9 号	令和 6 年度総社市健全化判断比率及び資金不足比率について	報告を受けた
報 告 第 10 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
報 告 第 11 号	地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について	報告を受けた
議 案 第 47 号	総社市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 48 号	総社市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 49 号	工事請負契約の締結について	原 案 可 決
議 案 第 50 号	財産の取得について	原 案 可 決
議 案 第 51 号	総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 52 号	総社市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原 案 可 決
議 案 第 53 号	工事請負契約の締結について	原 案 可 決
議 案 第 54 号	工事請負契約の締結について	原 案 可 決
議 案 第 55 号	財産の取得について	原 案 可 決
議 案 第 56 号	総社市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 57 号	総社市給水条例の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 58 号	総社市公共下水道条例の一部改正について	原 案 可 決
議 案 第 59 号	令和 6 年度総社市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原 案 可 決
議 案 第 60 号	令和 6 年度総社市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原 案 可 決
議 案 第 61 号	令和 6 年度総社市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原 案 可 決
議 案 第 62 号	令和 7 年度総社市一般会計補正予算（第 4 号）	原 案 可 決
議 案 第 63 号	令和 7 年度総社市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原 案 可 決
議 案 第 64 号	令和 7 年度総社市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	原 案 可 決
議 案 第 65 号	令和 7 年度総社市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原 案 可 決
議 案 第 66 号	令和 7 年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算（第 1 号）	原 案 可 決
議 案 第 67 号	市道の路線認定について	原 案 可 決
議 案 第 68 号	令和 7 年度総社市一般会計補正予算（第 5 号）	原 案 可 決
認 定 第 1 号	令和 6 年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 2 号	令和 6 年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 3 号	令和 6 年度総社市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 4 号	令和 6 年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 5 号	令和 6 年度総社市国民宿舎事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 6 号	令和 6 年度総社市水道事業会計決算認定について	認 定
認 定 第 7 号	令和 6 年度総社市工業用水道事業会計決算認定について	認 定
認 定 第 8 号	令和 6 年度総社市下水道事業会計決算認定について	認 定
意 見 第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推 薦 に 同 意
意 見 第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推 薦 に 同 意
請 願 第 2 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2026 年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採 択
陳 情 第 3 号	『医療的ケア児訪問看護レスパイト事業』創設に関する陳情書	趣 旨 採 択
議案乙第10号	監査請求に関する決議について	原 案 可 決
議案乙第11号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書について	原 案 可 決

令和7年10月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

番 号	件 名	結 果
同 意 第 3 号	監査委員の選任に関する同意を求めることについて	同 意

令和7年8月定例総社市議会 賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議案等	議員名	山	太	荒	小	森	仁	山	溝	三	萱	三	岡	深	小	高	小	津	頓	加	山	剣	議決結果
		名	田	木	野	安	熊	田	手	上	野	宅	崎	見	川	谷	西	神	宮	藤	口	持	
議案乙第10号	監査請求に関する決議について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	原案可決
認 定 第 1 号	令和 6 年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定

〔凡例〕○：賛成 ×：賛成でない 退：退出 欠：欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 村木理英議員は、議長のため採決には加わりません。

問 ペット版防災手帳を作る考えはどうか

答 ペット防災手帳をつくりましょう



おかざきこういち
岡崎亨一

防災対策について

問 本市のペット同行避難計画はどうなっているか。

市長 避難所運営マニュアルの中にペット同行避難を推奨している。義務化の議論を進めたい。三か所の同行避難所を設定しているがこれでは足りない。チュッピーホールを検討している。

障がい者福祉の日常生活用具について

問 本市独自で新たなものを認めることは出来ないか。

市長 考えさせてほしい。私らしくない答弁と思う。規定に当てはまらないが考えさせてほしい。

熱中症対策について

問 市内設備へのミストシャワー設置の検討はどうなっているのか。

市長 砂川公園に設置した。管理に人手がかかる。どこもかしこもという訳にはいかない。

問 人が集まる場所には配慮があってもいいのではないか。常盤公園などはどうか。

市長 常盤公園に常駐の管理人がいない。常駐管理者がいるところにしたい。

問 過去の矛盾した答弁を訂正し、説明する必要があるのではないか

答 地食べ公社の令和2年度決算を当時黒字と言ったが赤字であった



おのてつや
萱野哲也

問 地食べ公社の代表理事を辞めるということだが、市長としての責任はないのか。

市長 市長としてお詫び申し上げる。

問 市民は怒っている。市民が補助金申請したらものすごく大変なのに、総社市は我ところで良いようにしている。代表理事が補助金を流用することを知りつつ片岡市長が補助金を交付している関係が背任行為だと言われている。それで市長として務まるのか。市としてこれはありなのか。

市長 地食べ公社は頑張って農家を守ろうとしている。

問 論点をすり替えるな。制度上の話をしている。公社や農家を守るから補助金の返還請求をしないでは、他の補助金で頑張っている民間や非営利団体に説明がつかない。民間が補助金の虚偽申請しても返還請求しないのか。

市長 今後は新しいルールを作っていく。

問 「ごめんなさい。今後は直していきます。」ではダメで、なぜこうした問題が起きたのかを究明すること。市民に疑惑とされていることを解明し説明をするために市として調査はしているのか。

市長 公社の財務諸表や事業の内容のヒヤリングを行っている。

問 大規模な負担金(分担金)を長期分割支払い制度として運用できないか

答 持続可能な制度は必要だと考える。国や県に働きかけてもいきたいと考えている



おおたぜんすけ
太田善介

ラジコン草刈り機等貸出事業について

問 現状どのくらいの稼働状況なのか。また、どの地区で多く使われているのか。

市長 稼働率としてはラジコン草刈り機で51.4%、ハンドル付き草刈り機で31.4%。利用の多い地区はラジコン草刈り機は秦、久代、下倉など35地区、ハンドル付き草刈り機は長良、秦、下原など25地区で利用されている。

問 事故や故障の頻度はどうか。

市長 人的被害はない。機器のトラブルは12件、機器の転倒、水没、苅羽の破損などがあった。

問 若者に対して利用講習などは随時行っているのか。

市長 考えていかなければならない。

問 今後、要望や需要に応じて機械などの更新や別機材の導入などは考えているか。

市長 始まったばかりなので、すぐには無理だが今後考えていかなければならない。

受益者負担制度について

問 負担金(分担金)制度の現状はどうか。

市長 分担金が大きすぎて、事業が進まないものもある。具体的には発言できないが、国や県の制度を使いながら、相談に乗っていきたい。

問 百日ぜきとRSウィルスワクチンに補助はできないか

答 吉備医師会の先生方と相談しながら動向をみていく



おがわしんいち
小川進一

問 感染症ワクチンはどれくらいあるのか。

市長 現在国内に35種類のワクチンがある。定期接種は18種類ある。任意接種は17種類ある。

問 この中で市で補助しているものがあるか。

市長 定期接種については全て、任意接種については5種類を助成している。

問 百日ぜきが大変流行しているが、就学後の児童には助成がない。市で助成はできないのか。

市長 百日ぜきについては生後2か月から90か月(7歳半)まで全額公費負担している。

問 就学後の助成はどうか。

市長 3種混合ワクチンの生産が追い付いていない。将来を見ながら考えていきたい。

問 RSウィルスは1歳までに約70%が感染している。2歳までには90%以上が感染している。2024年にワクチンが薬事承認されている。母子免疫ワクチンは妊娠中に母体に接種し、母体で抗体を増やして生まれてくる子に抗体を移行されるものである。市での助成はどうか。

市長 吉備医師会の先生方と相談しながら動向をみていきたい。国が定期接種化してくれるのが望ましい。

問 生殖補助医療費助成金給付事業がある。この名称では不妊治療のための助成金だと分からない

答 分からないと思うので、不妊治療や不妊の文言を入れて分かりやすく情報発信する



仁熊 すすむ

不妊治療について

問 他の自治体では独自にサポートセンターを設置している。本市でも経済的・精神的サポートを強化すべきではないか。

市長 助成件数が他自治体と比較して少ない現状を踏まえ、経済的な支援のあり方についても可能な範囲で検討し、サポートを強化していく。

蛍光灯の2027年問題について

問 市の施設における蛍光灯のLED化はどのくらい進んでいるか。

市長 令和7年度中に126施設、令和8年度以降に113施設のLED化を予定している。

問 個人住宅や公共住宅の入居者の中で、経済的理由などによりLED化が困難な家庭に対し、市はどのような施策を考えているか。

市長 生活保護受給者や経済的困窮者の人数を把握し、対策を検討したい。

地域猫の補助金について

問 補助金は子どもへの啓発活動や、一般市民を巻き込んだ獣医との連携セミナーなどに使ってほしい。

市長 動物と触れ合うことや動物の命を大切に思う気持ちは非常に大事である。教育委員会とも相談し、実施すべきだと考える。自身の経験からも、学校で動物について教えることは非常に大事だと思うので検討したい。

問 若者の活躍を発信する独自の情報紙を公募の実行委員会形式で作成し、発刊してはどうか

答 良いことなので是非やりましょう



頓宮 美津子

放課後児童クラブの施設整備について

問 児童クラブの施設に、環境面でも費用の面でもメリットが多い木造化を今後の計画に取り入れてはどうか。

教育長 経費の面や建設期間の面からも今後検討してまいりたい。

産後の支援について

問 産後の母親のために子育て支援の民間のサポート機関と連携してはどうか。

産後うつが非常に増えている。母と子のためにその心の支援対策として、医師や精神科専門医中心の民間団体と連携してはどうか。

市長 その問題は大変重要で、やっていきたい。心を守る総社として、吉備医師会とも連携して取り組んでいきたい。

包括的性教育について

問 子どもたちを守るために、命を守り互いを尊重できる包括的性教育をまずは、養護教諭、そして教員に行ってはどうか。また子どもたちにも、5歳児、小6、中3に実施してはどうか。

教育長 養護教諭とも相談して進めていきたい。



問 カスタマーハラスメントを防止する条例を制定し、市内の働く人を守るべきと思うがどうか

答 カスハラ基準を慎重に論議し、条例を制定する方向で検討する必要がある



山田 雅徳

カスタマーハラスメント防止について

問 市役所や学校での迷惑行為や過剰要求の実態を把握しているか。

総務部長 市役所において直近三年間でコンプライアンス推進監が対応したのは39件、そのうち6件を警察に通報した。

教育長 教育委員会に行為の報告はない。

問 職員が対応するマニュアルはあるのか。

市長 現在制定していないので、他の条例(不当要求)のマニュアルを準用している。

教育長 県教育委員会のマニュアルを参考にしている。具体的なルールは制定してない。

市政の情報発信について

問 12年ぶりに更新される総社市ホームページは、どのような内容・方向性で作られようとしているのか。

総合政策部長 閲覧の65%を占めるスマホ利用者に配慮し、画面構成やボタン配置を見直し、来年3月の公開を目指す。

資源の有効活用と環境負荷低減について

問 旧庁舎備品譲渡会の成果(来場者数・配布点数)と、環境負荷低減や処分費削減の効果をどう評価するか。

市長 1,515人の市民が参加し、1,715点の備品のうち1,458点をお持ち帰りいただいた。重量は約14.5トン。CO₂削減量については16トンの削減があったと認められる。処分費用は少なくとも73万円の削減であった。

問 湧水対策として汲み上げポンプの燃料費など、市の補助はできるのか

答 単市で覚悟を持って対応していく



小西 利一

問 湧水対策として危機管理マニュアルを作成しておくべきではないのか。

市長 干ばつ対策設置基準があるが合併前のものである。今後のことを考えると要綱の見直しを行いマニュアルの作成を検討していく。

問 新本川の整備が進んでないので今までは土砂が堆積し水を貯めておく樋の役目を果たしていない。早急に県に整備してもらうよう働きかけてもらいたい。

市長 これからも県に要望していく。

問 そうじゃ代行事中の契約状況はどのくらい進んでいるのか。

市長 現在20件の申し込み相談があり3件は契約に結び付いている。

問 米の増産政策に対して市として具体的に何を行っていくのか。農家は今、後継者不足に悩み担い手がいない状況の中、持続可能な農業にしていく為に大規模化してスマート農業に変えて行く必要がある。そのためには多額のお金が必要になる。国の事業として国は予算をつけて早急に取り組むべきではないのか。市長の考えはどうか。

市長 まさにそのとおりなので国に対して総社市として強く要望していく。

総務生活委員会

《8月定例会》

当委員会では審査した案件は、8月定例会では議案11件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

●工事請負契約の締結について（議案第49号）

問 総社市旧本庁舎・保健センター・総合福祉センターの解体工事とあるが、西庁舎については当面の間、倉庫として利用するために本件とは別の契約となるのか。

答 お見込みのとおりであり、西庁舎については、本契約分の工事が終了した後、付属棟としてバス車庫や倉庫棟を令和8年から令和9年にかけて建設し、その後新しくできた倉庫棟に現在西庁舎に保管しているものを移してから解体工事を予定している。時期としては、令和9年度になる見込みである。

●一般会計決算審査特別委員会総務生活分科会

◎令和6年度一般会計歳入歳出決算認定（認定第1号）（所管部分）

問 市内の特殊詐欺の被害状況についてはどうか。

答 令和6年度の消費生活センターの相談件数は、378件であり、対前年で30%増えている。特に多い相談内容としては、通信販売や店舗商品、訪問販売が上位で、スマートフォンを利用した詐欺も多発している。被害額としては、令和6年1月から12月の間に7件、計1262万円であった。

◆7月、8月定例委員会及び8月定例市議会会期中の委員会です所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

- ・ふるさと納税について（7月に調査）
- ・ふるさと納税について（8月定例委員会です調査）

報告事項

- ・第3次総社市総合計画の検討状況について
- ・トイレカーの使用について
- ・旧庁舎物品譲渡会・旧庁舎お別れ会について
- ・新庁舎修景池整備工事について
- ・服部駅前トイレ設置設計委託業務について

文教福祉委員会

《8月定例会》

当委員会では審査した案件は、8月定例会では議案6件であり、全て原案どおり可決しました。（請願1件は採択、陳情1件は趣旨採択）

●令和7年度総社市一般会計補正予算（第4号）（議案第62号）（所管部分）

問 ファミリサポートセンター事業委託料について、8月から利用料金の値上げをすることは理解できるが、なぜ市が補填してまで今のタイミ

ングで料金改定するのか。

答 料金改定については、昨今のガソリン代の高騰により提供会員の負担が増えていることを委託先から聞いている。年度途中の改定では、利用者の混乱を招くこと、また周知期間が必要であることから、今年度については実績により4月に遡り市が補填し、来年度からは受益者負担とする予定である。

●一般会計決算審査特別委員会文教福祉分科会

◎令和6年度一般会計歳入歳出決算認定（認定第1号）（所管部分）

問 図書館長が不在となつて何年経つのか。求人はいしているのか。また、兼務の状況について問題点はないか。

答 不在のため生涯学習課長が図書館長を兼務している状況は、7年5か月である。現在求人は行っており、再任用制度の活用のほか、これまでも適任と思われた方を検討

された経緯はあるが、就任には至らなかった。

兼務でよいとは考えておらず、現在図書館の運営や業務は継続しているが、所属長が同じ執務環境に常駐しないことは業務管理、労務管理上適切な状況とは考えていない。

◆8月定例委員会及び8月定例市議会会期中の委員会です所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

- ・病児保育について
 - ・訪問介護について
 - ・学校プールについて（8月定例委員会です調査）
 - ・小・中学校における熱中症対策について
 - ・学校プールについて（8月定例市議会会期中の委員会です調査）
- 報告事項**
- ・きびじアリーナ等への空調設備設置について
 - ・部活動の地域展開の状況について

産業建設委員会

《8月定例会》

当委員会では審査した案件は、8月定例会では議案16件であり、全て原案どおり可決しました。

●財産の取得について（議案第55号）

問 移動式排水ポンプユニットについて、作動させる際のスタッフの配置等はマニュアルで整備されているのか。

答 期間限定で業者委託し、水位が一定以上になったら市

から業者へ連絡を取り移動できる体制にする。

問 業者委託することについては、市の職員や消防職員が関わることはないのか。

答 最初のうちは職員が立ち会うが、慣れたら業者だけで対応いただくことになると思われる。

●一般会計決算審査特別委員会産業建設分科会

◎令和6年度一般会計歳入歳出決算認定（認定第1号）（所管部分）

問 そうじゃのお米支援補助金について、決算の内訳はどうか。

答 そうじゃ地食べ公社の運営全体に係るものについて補助するということで、令和6年度については、米価の高騰による部分も含め補助しており、そうじゃ地食べ公社の財務決算状況によると、地産地消に関する事業に120万円、生産物販売に1100万円、農産物受託に3百万円、

法人会計に伴うもの350万円、合計で約1870万円がそもそもの赤字分であり、プラス米の部分については、ふるさと納税米の上昇分と米関係の補助に対して充てているものである。

◆7月、8月定例委員会及び8月定例市議会会期中の委員会です所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

- ・そうじゃ地食べ公社の概要について
 - ・そうじゃのお米支援補助金について
 - ・そうじゃ地食べ公社の概要及びそうじゃのお米支援補助金について
- 報告事項**
- ・農業振興地域整備計画の策定について
 - ・水道料金・下水道使用料の料金改定について

市議会議員研修会を開催しました

7月18日(金)総社市議会全議員を対象に研修会を開催しました。講師として

自治体議会研究所代表である高沖秀宣氏をお招きし「所管事務調査について」をテーマに研修を行いました。



経て調査をし、市に対しての政策提言及び政策立案を行うものです。

令和6年5月号(78号)に常任委員会の所管事務調査についての記事を掲載させていただきましたが、現在は本議会独自の所管事務調査を行っているところでもあります。

質疑応答では、議員からの質問も活発に飛び交い、現在行っている所管事務調査は「所管事務調査の入口」にしかなくていい点もご指摘いただきました。

しかし、本議会での常任

委員会においても提言や決議につながっていないことはありません。

過去には、当時の総務文教委員会において専門的知見も活用した所管事務調査から報告書を作成し、平成25年6月議会にて「(仮称)総社市美術博物館建設の早期実現を求める決議」につながったものもあり、また最近では令和7年6月に文教福祉委員会より「放課後児童クラブについて」を市に提言を行っております。

市と議会は二元代表制であり、市は執行機関、議会は議事機関です。市民の皆様への付託を受けた議員が議会や委員会にて議論、審議、議決という意思決定をする機関であるということを忘れてはなりません。

今後、議会内において、常任委員会のあるべき姿をもう一度見つめ直す良い機会となりました。(山名 正晃)

編集後記

今号をもちまして現在の編集委員での議会だよりの発行は終了となります。一期生が中心となり、読みやすさを求めて工夫を凝らしてきました。いかがだったでしょうか。感想をどうぞ頂戴したいと思います。また市議会の改選で新人議員も誕生しました。これからも市民の皆様の方々に読んでいただくように創意工夫していきます。私も議会だよりに携わり10年になります。新しい感性を次なる編集委員にご期待ください。ありがとうございました。

(岡崎 亨一)



広聴広報委員紹介

(後列左から)森安健一、太田善介、山名正晃
(前列左から)岡崎亨一、高谷幸男(正)、荒木将之介(副)
仁熊 進

議員の紹介ページは市議会HPから確認いただけます。(議席番号順)

